

## VOCABOW 志望理由書 week2

### 添削と解説

名前	Sample1
ID	
e-mail	
開始日	

#### ◆生徒ドラフト

##### T 大学志望の動機

私は中学2年の時「A町の隠れキリシタンの生活とその処罰」をテーマに総合的な学習の時間の中で調べました。隠れキリシタンは「隠れキリシタンの里」として有名なところにしか存在しなかったと仮説を立てていたのですが、書物を読み進めていくと、私の地元にも存在していたことが分かり、衝撃を受けたことで調査を始めたことがきっかけでした。このことから全国の様々な地域に隠れキリシタンが生活していたことが分かりました。彼らは地域によってどのように生活し、信仰していたのだろうか。そう考えていくうちにキリスト教だけでなくさまざまな信仰がその地域の風土にあわせて存在していることに気づきました。悪天候が続くと日待をして集落の住民全員でお日様が顔を出すことを祈る。山や木など自然物をも神として崇拝する。そのような全国各地の信仰について、なぜ神として崇拝したのか、社会的背景によって心の拠り所を求めするために信仰したのか、それとも願望の対象として信仰したのか。それらのことについて「風土と信仰」をテーマに研究していきたいと考えています。研究をよりすぐれたものとするために、つぐ研究学園都市の中核を担い、かつ各分野で活躍している教授陣がそろっている筑波大学で、全国各地を研究対象とし、フィールドワークを中心とした研究活動に専念したいと思っています。(558字)

## 【添削】

V1 私は、大学で「風土と信仰」をテーマに研究していきたい V2。そのきっかけになったのは、中学 2 年の時「石越の隠れキリシタンの生活とその処罰」をテーマに総合的な学習の時間の中で調べましたことである。

\_\_隠れキリシタンは「隠れキリシタンの里」として天草など有名なところに日本の一部にしか存在しなかったと思っていたが 仮説を立てていたのです V3、郷土史書物を読み進めていくと、私の地元にも存在していたことが分かり、衝撃を受けた。ことで調査を始めたことがきっかけでした。このことからもちろん、そこだけでなく全国の広範囲の様々な地域に隠れキリシタンが生活していたと 言うことが分かりました。しかも、その信仰は元々のキリスト教のあり方からは大きく離れて、それぞれの風土の在来宗教と一体化し、変化していつ V4 らしい。 実際…… V5

その変化を追っていく彼らは地域によってどのように生活し、信仰していたのだろうか。そう考えていくうちにキリスト教だけでなく、さまざまな信仰がその地域の風土と生活にあわせて変化存在していることに気づきました。たとえば、日本の仏教は、中国・韓国と違って僧にも妻帯を認め、戒律のほとんどをなくしている。これは、日本の風土や社会が……からであろう。 悪天候が続くと日待をして集落の住民全員でお日様が顔を出すことを祈る。山や木など自然物をも神として崇拝する V6

私はそのような全国各地の信仰について、儀式と風土・社会のあり方を比較検討してみたい。 なぜ神として崇拝したのか、社会的背景によって心の拠り所を求めるために信仰したのか、それとも願望の対象として信仰したのか、それらのことについて「風土と信仰」をテーマに研究していきたいと考えています。

V7 筑波大学には、神話学・宗教学に研究をよりすぐれた先生でおられる。実際、高校の時に読んだ……先生の「……」には大きな影響を受けた。 ものとするために、つぐ研究学園都市の中核を担い、かつ各分野で活躍しているそれらの教授陣がそろっている筑波大学で、全国各地を研究対象とし、フィールドワークを中心として、各地の宗教のあり方をた研究活動に専念したいと思っ ていきたいと思っ ています。 現在、世界各地では宗教対立が起こっている。そのときに、こういう研究は……役立つであろう。

## 【解説と評価】

第一回目の提出ですので、形式面・内容面の両方の問題があります。以下、それぞれ説明していきましょう。

### 形式について

まず、デス・マス調の文体でなく、ダ・デアル調にしましょう。デス・マス調の文体は字数に対して盛り込める内容が少なくなります。ダ・デアル調であっても、丁寧でないという感じにはなりません。

また、全体および段落をポイント・ファーストにして、読みやすくすることも大切です。ポイント・ファーストとは、大事なことを文章全体・段落の冒頭に置くという方法です。これは、読者つまり採点者にとってこれからの内容がだいたい予想できるので、ずっと読みやすくなるという結果になります。

たとえば元のドラフトでは、中学2年を始まりとして時間の流れに沿った書き方になっていますが、これは本人にとってはわかりやすくとも、読む者にとってはそうではありません。時間に沿った順序ではなく、むしろ「なぜ、この大学に来たいのか？」という読む方からの疑問・質問に答えるような形で進んでいく必要があります。

その意味で、添削例では「私は、大学で『風土と信仰』をテーマに研究していきたい」というポイント・センテンス(一番言いたいことを表した文)を冒頭において、読者からの「なぜ、この大学に来たいのか？」にまず応答する形にしています。その後、「どのようにそう思ったのか?」「どうしてそう思ったのか?」「きっかけとなった出来事は何か?」の細かい情報が後に続きます。

とくに気をつけたいのが、具体例を出したときに、その前の説明ときちんと対応しているかどうかです。

### 内容について

志望理由書(Statement)の要素は、次のようなものがありますが、きちんと入っているでしょうか?

- 1 大学で、何を学びたいのか? どういう問題なのか?
- 2 どうして、それを学びたいのか? きっかけは何か?
- 3 それがどう社会に貢献するか? 何が自分に出来るのか?

4 なぜ、この学校を選ぶのか？ 他の学校でいけない理由は何か？

5 そのために、自分のどんな資質・能力がアピールできるか？

ここでは、いきなり2から始まっていますが、1から始めて2に行くのが良いでしょう。また3, 4などはやりたいことと社会との関係ですが、つい飛ばしてしまいがちです。ここでは、添削したものの第3段落で日本社会と宗教の関係を考察していますが、元々はあまり書いてありませんでした。またラストでは、自分の研究したいことの社会的意義についても付け加えておきました。こういうところを充実して書いてあると、書いている人の知識や教養を表現することになるのでもう少し工夫しましょう。

最後にあなたの書いたドラフトの表現・内容を整理して、「構成例」として示しておきました。「……」のところは内容が足りないところです。ここにどんな内容が入ったらいいか、考えてみましょう。

#### ◆コメント

V1 まず、段落をいくつかに分けること。600字近くを一段落で書いていくのは無謀でしょう。

V2 頭の所に「大学でやりたいこと」を持ってくる。ポイント・ファースト！

V3 「仮説を立てた」はやや大げさな表現です。

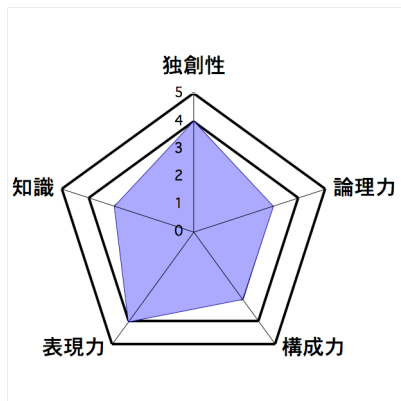
V4 隠れキリシタンの話から、どうやって「風土と信仰」の関係に持っていくか。そこをつなぐ理屈が抜けています。

V5 実例を入れましょう。

V6 もし、宗教が風土によって変化するという論の例示をするなら、あまり良い例ではないでしょう。ここでは、変化が書いていないからです。

V7 この内容は当然変わります。

独創性	4
論理力	3
構成力	3
表現力	4
知識	3
総合評価	C+



## 【構成例】

私は、大学で「風土と信仰」をテーマに研究していきたい。そのきっかけになったのは、中学2年の時「隠れキリシタンの生活とその処罰」をテーマに総合的学習で調査したことである。

それまで、隠れキリシタンは天草など日本の一部にしか存在しなかったと思っていたが、郷土史を読み進めていくと、地元石越にも存在していたことが分かり、衝撃を受けた。もちろん、全国の広範囲の地域に隠れキリシタンが生活していたと言う。しかも、その信仰は元々の基督教のあり方からは大きく離れて、それぞれの在来宗教と一体化し、変化していったらしい。実際……。

その変化を追っていくうちに、基督教だけでなく、さまざまな信仰が日本に流入した後、それぞれの地域の風土と生活にあわせて変化していることに気づいた。たとえば、日本の仏教は、中国・韓国と違って僧にも妻帯を認め、戒律のほとんどをなくしている。これは、日本の風土や社会が……からであろう。

私は全国各地の信仰について、このような宗教と社会の関係のあり方を比較検討してみたい。……筑波大学には、……など社会学・宗教学にすぐれた先生でおられる。実際、高校の時に読んだ……先生の「……」には……という意味で、大きな影響を受けた。それらの教授陣がそろっている筑波大学で、フィールドワークを中心として、宗教のあり方を深く研究していけるのではないかと期待している。現在、世界各地では宗教対立が起こっている。そのときに、こういう研究は……役立つであろう。(617字)